あかりの
TAKIZUMI

LEDシーリングライト

取扱説明書

8C806R00901

保証書添付　保管用

お客様へ

この度は、タキズミ照明器具をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。「取扱説明書」をよくご覧のうえ、正しく安全にご使用ください。　ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。　保証書はお買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

この説明書は工事終了後、この器具をご使用になるお客様にお渡しください。

品番　RK80149

【安全上のご注意】必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

◆誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

◆お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

禁止	してはいけない内容です。
必ず守る	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

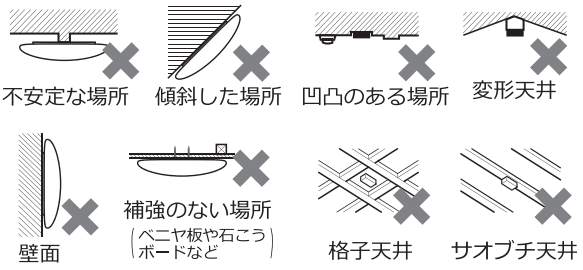
■取付面

●次のような場所には取り付けないでください。

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

◎この器具は水平天井専用です。

禁止



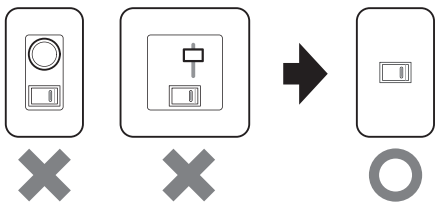
■壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切スイッチに交換してください。

火災のおそれがあります。

◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
（工事には資格が必要です）

必ず守る



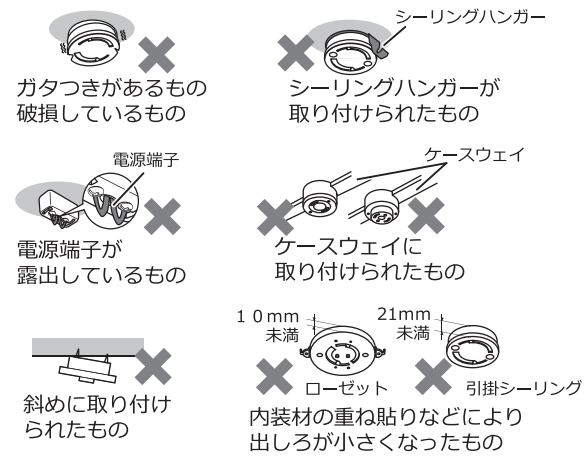
■配線器具

●次のような配線器具（ローゼット・引掛シーリング）には取り付けないでください。

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
（工事には資格が必要です）

禁止



■その他

●交流100ボルトで使用してください。

過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。

●異常を感じた場合、速やかに電源を切ってください。

異常状態が収まったことを確認し、お客様相談室にご相談ください。

必ず守る

●アダプタは確実に取り付けてください。

落下してけがのおそれがあります。

●本体は確実に取り付けてください。

破損して感電のおそれがあります。

●本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付けてください。

破損して感電のおそれがあります。

分解禁止

●器具を改造したり、部品を交換しないでください。

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

⚠ 注意

必ず守る

●照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。
◎1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
（弊社ホームページより書式をダウンロードしてご使用ください）https://www.takizumi-denki.com/publics/index/208/

●この製品は5℃～35℃の範囲内で使用してください。
火災、感電の原因となることがあります。

●取付け・取りはずし時などは足場を確保し、安全に作業できるよう注意してください。
転倒・落下してケガをするおそれがあります。

●付属の梱包材は取り除いて使用してください。
そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

●カバーなどが破損した場合、けがの原因になることがありますので、破損部分に直接手や肌などを触れないでください。
◎破損した状態のまま使用すると感電、けがの原因になることがあります。販売店に点検、部品の交換、修理を依頼してください。

接触禁止

●点灯中や消灯直後は本体やその周辺にさわらないでください。
やけどの原因となることがあります。
◎お手入れは電源を切り、本体やその周辺が冷めてから行ってください。

水ぬれ禁止

●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しないでください。
火災、感電の原因となることがあります。
◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

禁止

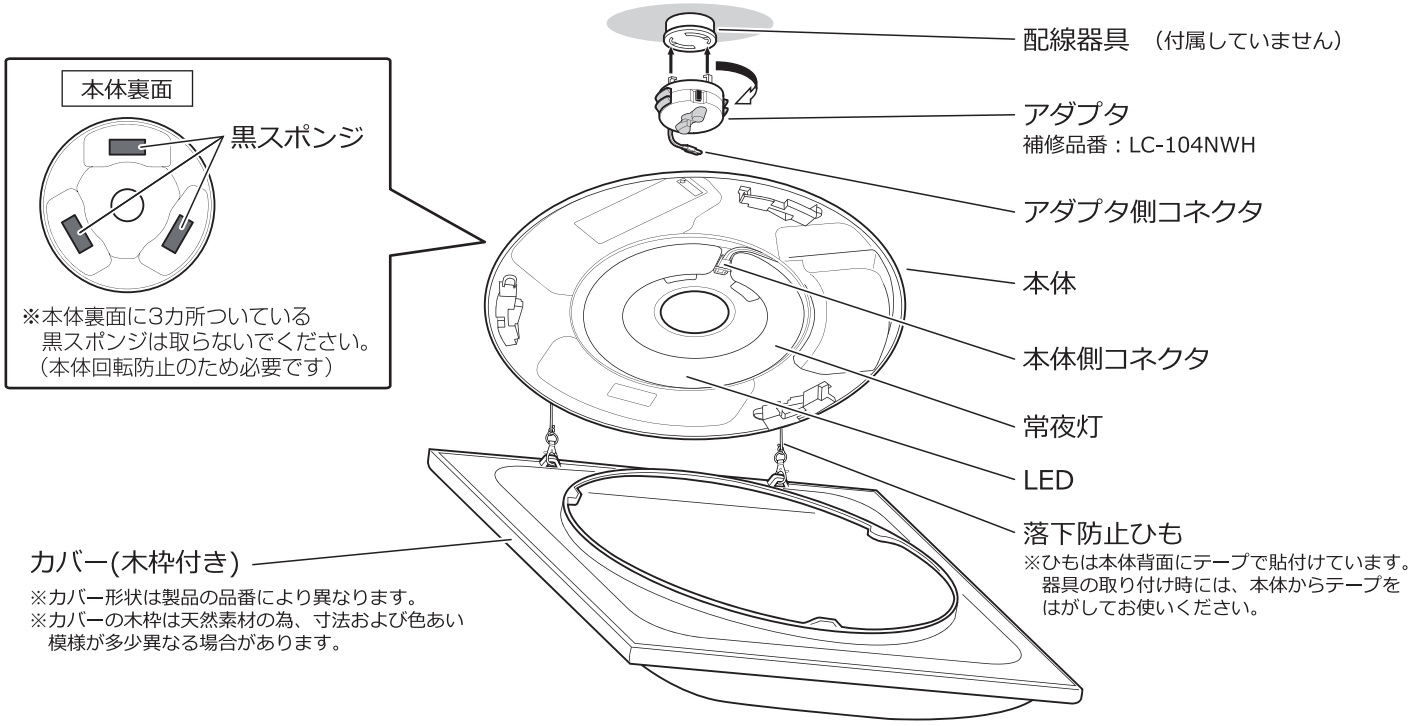
●温度の高くなるものを器具の真下に置かないでください。
火災の原因となることがあります。
◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

●LEDを直視しないでください。
目の痛みの原因となることがあります。

各部のなまえと付属部品

取付ける前にまず付属部品をご確認ください

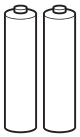
照明器具



リモコンと付属部品

リモコン（補修品番：TLR-009）

単4形乾電池(2本)



※動作確認用のため電池寿命が短い場合があります

照明器具を取り付ける

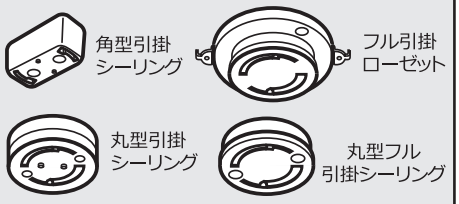
安全のため、必ず電源を切ってから行ってください

1 天井の配線器具を確認する

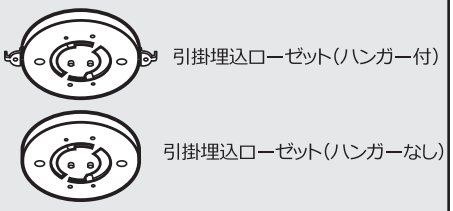
天井に右図のような配線器具が
付いている場合、取り付けできます。
※壁スイッチと併用をおすすめします。

右記以外の配線器具の場合や、配線器具が
設置されていない場合は取り付けできません。
◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
（工事には資格が必要です）

天井からの出しろが 22mm の配線器具



天井からの出しろが 11mm の配線器具

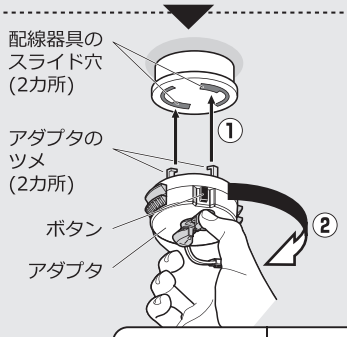


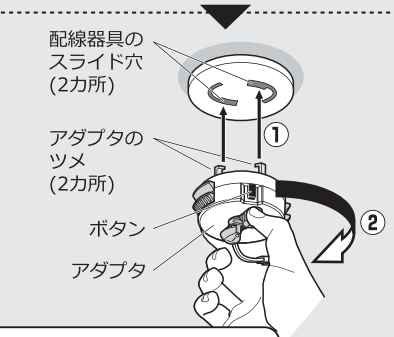
2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける

①アダプタのツメ(2カ所)を配線器具のスライド穴(2カ所)に入れ、

②「カチッ」と音がするまでアダプタを右に回して取り付ける

確認　アダプタ取り付け後、ボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する。



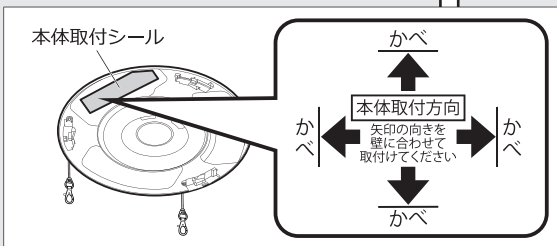


⚠ 警告　**必ず付属のアダプタを使用する**
付属のアダプタ以外を使用した場合、本体が外れなくなる場合があります。

⚠ 警告　**アダプタ、本体は確実に取り付ける**
落下してけがのおそれがあります。

3 本体の取付方向を確認する

本体に貼っている「本体取付シール」を確認し、本体を取付ける方向を決める



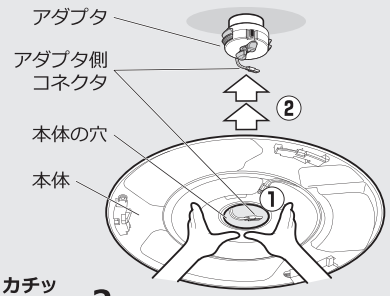
「本体取付シール」の矢印の方向と、お部屋の壁の方向とを合わせた状態で本体を取付けると、お部屋に対して四角形のカバーを平行に取付けることができます。

4 本体を取り付ける

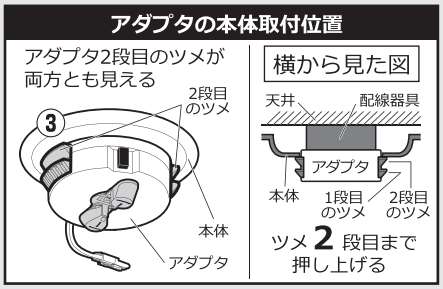
配線器具により本体の取付位置が
異なります。
右図を参考に本体を押上げてください。

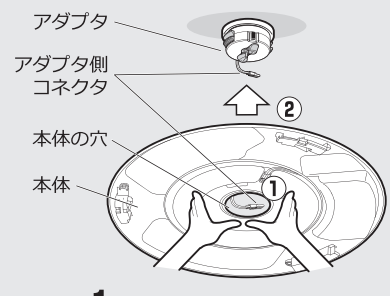
①本体の穴にアダプタ側コネクタを通し、

②本体の穴をアダプタに合わせて本体を押上げる

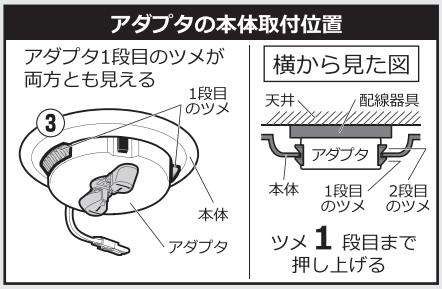


カチッ カチッ と 2 度、音がするまで本体を押上げる。





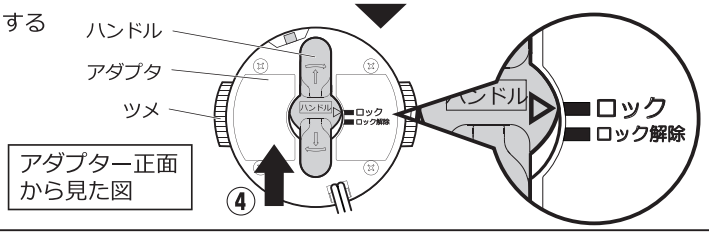
カチッ と 1 度、音がするまで本体を押上げる。



⚠ 注意
本体を押上げる際は
穴のまわりを押上げてください。

③本体の穴からアダプタのツメが見えることを確認する

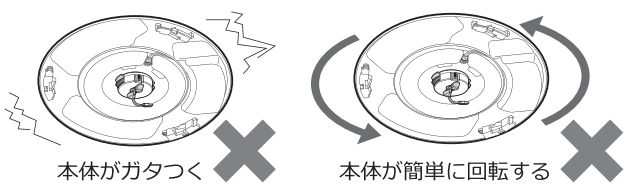
④アダプタのハンドルをロックする



ハンドルの▲印を
「ロック解除」から「ロック」の
位置にスライドさせる

5 本体が正しく取り付けられているか確認する

確認　右図の場合、正しく取付けされていないので
手順 **4** を再度行ってください。

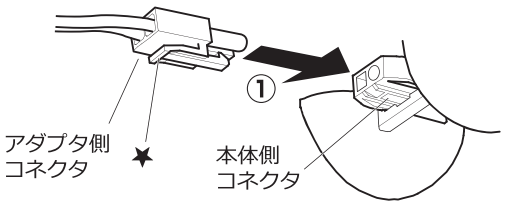


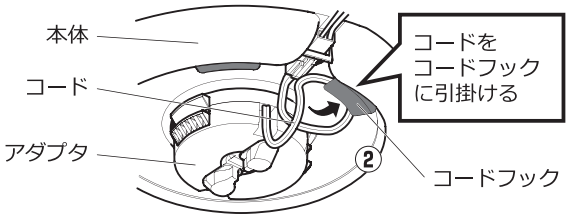
（次ページにつづく）

6 コネクタを接続する

①アダプタ側コネクタを
本体側コネクタに確実に
差し込む

②アダプタのコードを
本体のコードフックに
引掛ける





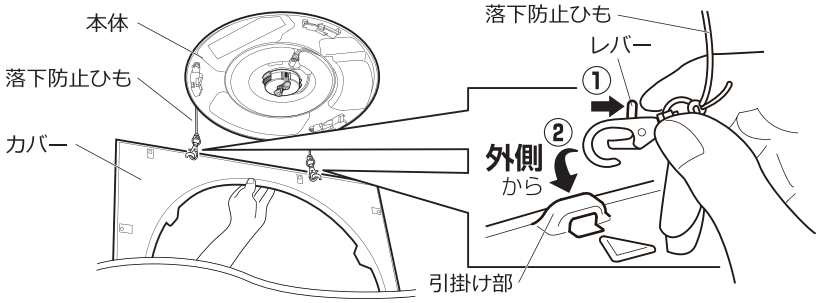
確認 ★の部分を押さえずに引っ張って、
アダプタ側のコネクタが抜けない
ことを確認してください。

警告 **コネクタ接続後は本体を無理に回さないでください**
器具や配線器具の落下、破損の原因になります

7 落下防止ひもを取り付ける

①落下防止ひものレバーを引いて、

②右図のように落下防止ひもを
カバーの引掛け部に外側から取り付ける(2カ所)
※内側から取り付けられません。



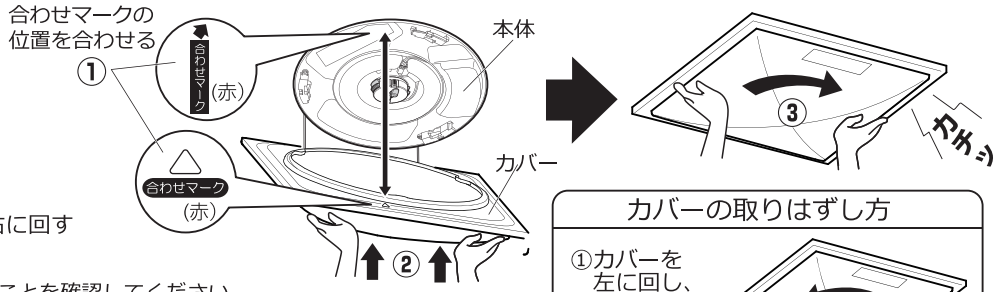
警告 **カバーが落ちないようにしっかりと支えてください**
落下してけがのおそれがあります
落下防止ひもは必ず取り付けてください
落下してけがのおそれがあります

8 カバーを取り付ける

①カバーの ▲ 合わせマーク(赤色)
と本体の ▲ 合わせマーク(赤色)
の位置を合わせ、

②カバーを持ち上げて本体にはめ、

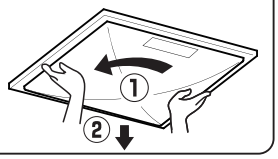
③「カチッ」と音がするまでカバーを右に回す



カバーの取りはずし方

①カバーを
左に回し、

②カバーを
取りはずす



確認 カバーが確実に取付けされていることを確認してください。
カバー取り付け時に本体が簡単に回転する場合は、本体が正しく取り付けされていません。
手順 **4** に戻って本体の取り付けを再度行ってください。

照明器具を取りはずす

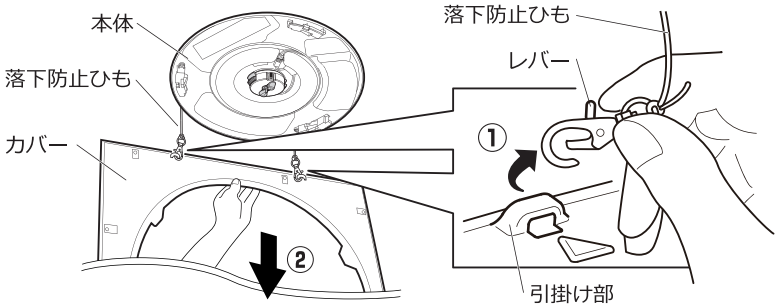
安全のため、必ず電源を切ってから行ってください

1 落下防止ひもをカバーから取りはずす

①落下防止ひものレバーを引いて、カバーの引掛け部に
取り付けられている2カ所の落下防止ひもを取りはずし、

②カバーを取りはずす

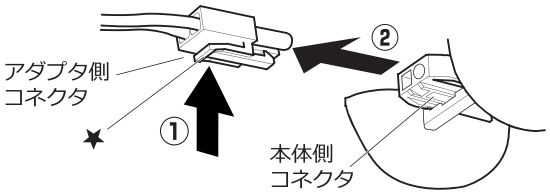
警告 **カバーが落ちないようにしっかりと支えてください**
落下してけがのおそれがあります



2 コネクタをはずす

①コネクタの★の部分を押さえながら

②アダプタ側コネクタを引き抜く



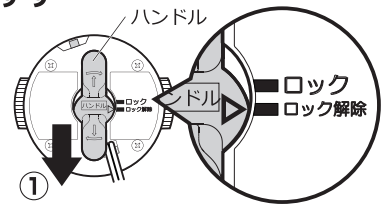
3 本体を取りはずす

①アダプタのロックを
解除する

②本体が落ちないように
しっかりと支えながら、

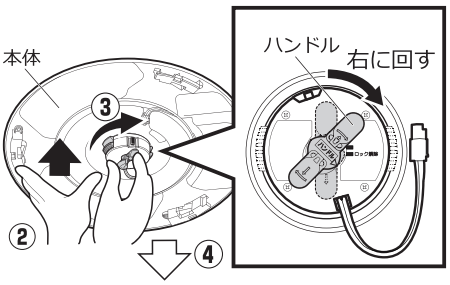
③ハンドルを右に回し、

④本体をゆっくりと
下げて取りはずす



アダプター正面から見た図

ハンドルの▲印を「ロック」
から「ロック解除」の位置に
スライドさせる

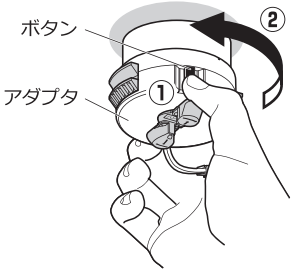


警告 **本体が落ちないようにしっかりと支える**
落下してけがのおそれがあります

4 アダプタをはずす

①ボタンを押しながら

②左に回してアダプタをはずす

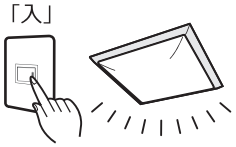


あかりをつける・消す

壁スイッチで照明器具を操作する

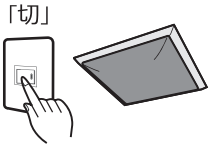
点灯・消灯する

「入」



記憶している前回の状態で点灯します
（初期設定：消灯）

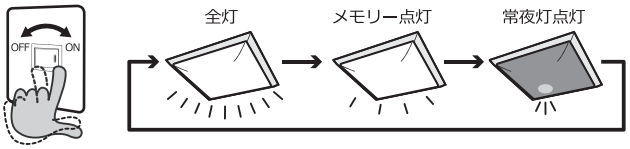
「切」



現在の状態を記憶して消灯します

●リモコンで「明るさ」を調節した状態で消灯した場合は、現在の状態を記憶しません。そのため、次にONした時は最後にメモリー点灯ボタンに記憶した「明るさ」で点灯します。
●消灯状態で「切」にすると次に「入」にしたときも消灯状態になります。

点灯状態を切り替える



壁スイッチを素早く(約3秒以内に) OFF ⇔ ON を切り替えると上図のように点灯状態が切り替わります

●メモリー点灯ボタンの初期設定は【明るさ：100%】の状態で記憶されています。
●壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用した場合、点灯状態が同時に切り替わらないことがあります。

リモコンについて

リモコンで照明器具を操作する　壁スイッチは「入」の状態にしてください

リモコンのボタンについて

※リモコンなどの付属部品は1年保証です（乾電池を除く）

全灯・消灯ボタン

全灯(昼光色・100%の明るさ)、消灯をおこないます。
押すたびに 全灯⇒消灯⇒全灯⇒・・・を繰り返します。

●この器具は、リモコンで消灯している場合約１W以下の電力を消費しています。長期間ご使用されない場合、壁スイッチをＯＦＦにしておくことをおすすめします。

調光ボタン

明るさを調節します。
調光範囲：100%～約10%まで

調光ボタン（明）（暗）を同時に長押し(6秒以上)で操作する照明器具のチャンネルが切り替わります。

⇒7ページの「チャンネルの設定方法」を参照

常夜灯ボタン

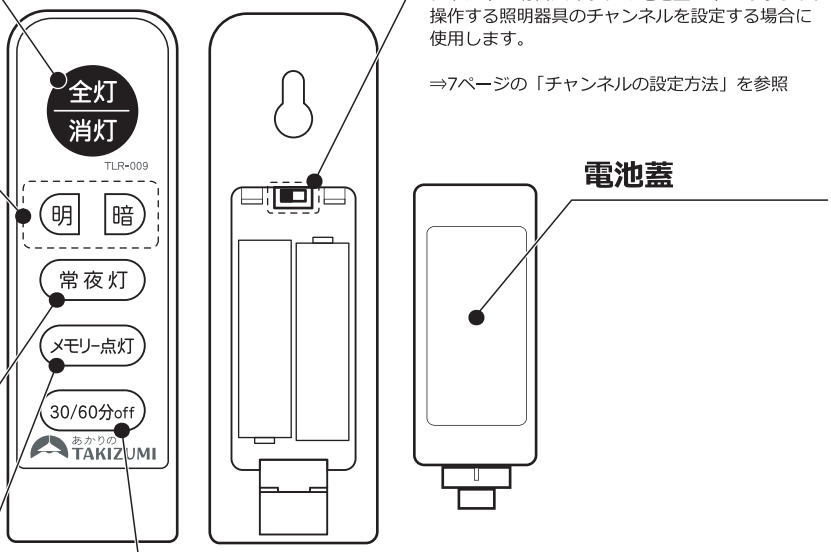
常夜灯を点灯します。

●常夜灯は調光できません。

メモリー点灯ボタン

メモリー設定操作をした「明るさ」で点灯します。
ボタンを長押し(2秒以上)で点灯状態を記憶します。

⇒初期設定は【 明るさ：100% 】
⇒6ページの「点灯状態を調節し記憶させる」
「記憶した明るさをワンタッチで点灯する」を参照



チャンネル切替スイッチ

チャンネル切替スイッチは電池蓋の中にあります。
操作する照明器具のチャンネルを設定する場合に使用します。

⇒7ページの「チャンネルの設定方法」を参照

電池蓋

offタイマーボタン

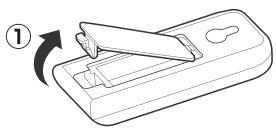
offタイマーをセットすると30分後または60分後に自動消灯をおこないます。
タイマー設定後、offタイマーボタン以外のボタンを押すと「ピー」とブザー音が鳴りタイマーは解除されます。必要な場合は、改めてタイマー設定をおこなってください。

押すごとに《60分後消灯》⇒《30分後消灯》を繰り返します

設定音	ピピピッ	ピピッ	ピピピッ	ピピッ
	60分後消灯	30分後消灯	60分後消灯	30分後消灯

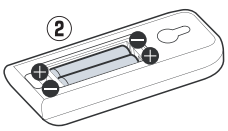
リモコン乾電池の入れ方

①リモコン裏側の電池蓋をはずす

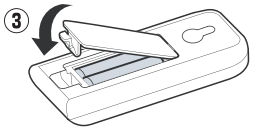


②電池の⊕⊖を正しく入れる

電池は⊖側接点をリモコンのバネに正しく押し当てながら装填する



③電池蓋を取り付ける



●使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。
●リモコンに付属の電池は動作確認用のため電池寿命が短くなる場合があります。
●電池を入れる時、電池に傷をつけたり、カバーを破らないようにしてください。
発熱、破裂、発煙、発火のおそれがあります。
●電池交換時は２本とも新しい同じ種類のものを使用してください。
●長期間使わない時は電池を取り出してください。
(液漏れによる故障防止)

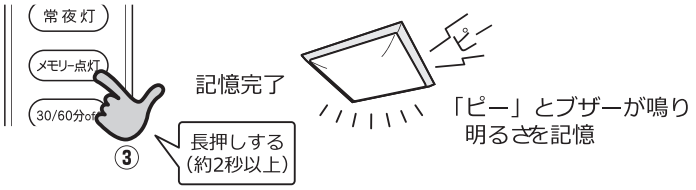
点灯状態を調節し記憶させる

リモコンのメモリー点灯ボタンで、お好みのあかりを記憶することができます

①リモコンの「全灯ボタン」を押して点灯させる

②リモコンの「調光ボタン」を押して、
おこのみの明るさに調節する

③リモコンの「メモリー点灯ボタン」を
長押し(約2秒以上)して明るさを記憶する

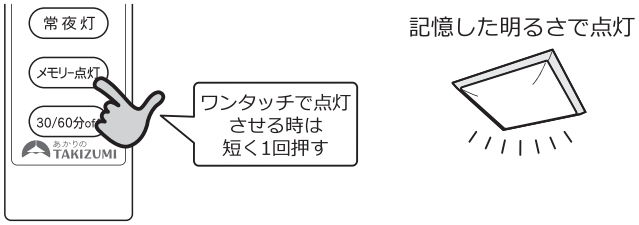


●再び上記の操作を行うまでは、記憶した明るさを保持します。

記憶した明るさをワンタッチで点灯する

記憶した明るさをワンタッチで点灯することができ、「お気に入りの点灯状態」としてご利用できます

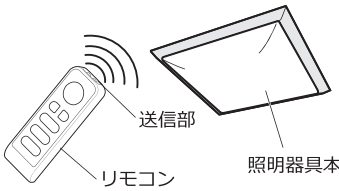
リモコンの「メモリー点灯ボタン」を押して点灯させる



●常夜灯はメモリー点灯ボタンで記憶できません。
●初期設定は、【 明るさ：100% 】の状態で記憶されています。

確認

リモコンを操作する場合は、
照明器具本体に送信部を向けて
操作してください。



リモコンの便利な使い方

2台までのリモコン照明器具を操作する（照明器具のチャンネルを変更できます）

チャンネル設定でできること

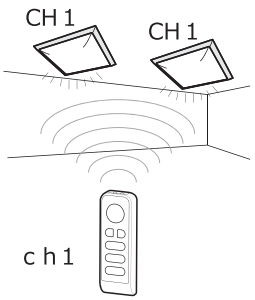
●リモコンのチャンネルを切り替えると
1台のリモコンで複数の照明器具を操作
できます。

※リモコンで操作できない時は、リモコン
と照明器具とのチャンネル設定が合って
いない可能性があります。

⇒7ページ「チャンネルの設定方法」を参照

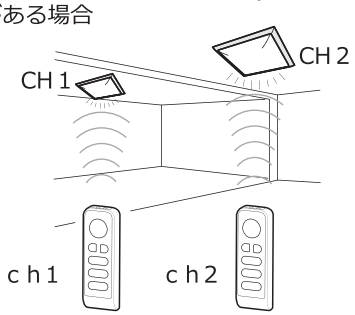
【 2台の器具を同時に操作する 】

«使用例»
部屋に2台のリモコン照明器具(タキズミ製)
がある場合



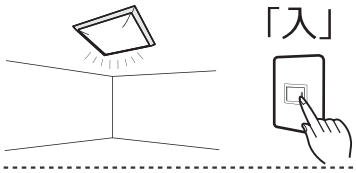
【 2台の器具を別々に操作する 】

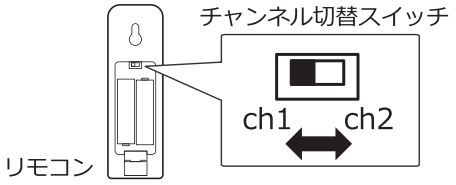
«使用例»
隣室にもリモコン照明器具(タキズミ製)
がある場合



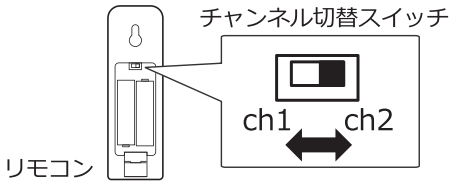
チャンネルの設定方法

●チャンネルの初期設定は照明器具本体、リモコン共にch1に設定されています。





（チャンネル切替スイッチは電池蓋の中にあります。）



（チャンネル切替スイッチは電池蓋の中にあります。）

照明器具本体を ch2 に設定する場合	照明器具本体を ch1 に設定する場合
①チャンネル設定 **ch2** に設定したい器具のみを壁スイッチONにする	①チャンネル設定 **ch1** に設定したい器具のみを壁スイッチONにする
▼	▼
②リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch1** の位置にスライドする	②リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch2** の位置にスライドする
▼	▼
③照明器具本体にリモコンを向けながら「調光ボタン（明）（暗）」を約6秒以上同時に長押しする （「ピーピピピ」とブザーが鳴り照明器具本体のチャンネルが **ch1→ch2** へ切り替わります。）	③照明器具本体にリモコンを向けながら「調光ボタン（明）（暗）」を約6秒以上同時に長押しする （「ピーピピピ」とブザーが鳴り照明器具本体のチャンネルが **ch2→ch1** へ切り替わります。）
▼	▼
④リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch2** の位置に切り替えて使用してください （※照明器具本体のチャンネル設定がch2に切り替わっているため、リモコンのチャンネルを合わせないと操作することができません。）	④リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch1** の位置に切り替えて使用してください （※照明器具本体のチャンネル設定がch1に切り替わっているため、リモコンのチャンネルを合わせないと操作することができません。）

チャンネル設定を切り替えたい照明器具本体以外も反応して、同時に設定されてしまう場合は、壁スイッチOFFにしてから対象器具以外のコネクタを取り外してからチャンネル設定をしてください。

リモコンは、他のタキズミ製リモコン付照明器具に対しても操作できますが、チャンネルの設定の方法はその商品の取扱説明書をご参照ください。また、機種によってはリモコンで操作できる機能が制限される場合があります。

故障かな？と思ったら

下表に従って点検してください

現　象	考えられる原因	点検事項
点灯しない	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにしてください ⇒ 5ページ・・・
	器具のコネクタが確実に差込まれていない	器具のコネクタを確実に接続してください ⇒ 4ページ・・・
リモコンで操作できない	リモコンと器具のチャンネルが合っていない	リモコンと器具のチャンネルを合わせてください ⇒ 7ページ・・・
	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れてください ⇒ 5ページ・・・
	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換してください ⇒ 5ページ・・・
勝手に消灯する	offタイマー30分／60分がセットされている	offタイマー30分／60分を解除してください ⇒ 5ページ・・・
勝手に点灯する	非常に短い停電などにより壁スイッチ機能がはたらき、点灯状態が切り替わった可能性がある	壁スイッチをOFFにしてください ⇒ 5ページ・・・ リモコンまたは壁スイッチ操作で点灯モードを切り替えてください ⇒ 5ページ・・・

上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入店、弊社お客様相談室にご相談ください。

ご使用上に関するお知らせ

【ご使用上の注意点】

- ●点灯中や消灯後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- ●天井の材質や構造によっては、器具取付天井面が変色する場合があります。
- ●木や和紙など素材を使った商品は天然素材の特性上、同一品番でも商品ごとに寸法および色合い模様が多少異なる場合があります。
- ●停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
- ●壁スイッチがないと、リモコンの電池が消耗した場合やリモコンを紛失した場合に点灯消灯ができません。
- ●壁スイッチがＯＮの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
- ●LED、常夜灯にはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- ●3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
- ●3Dテレビ視聴時、リモコンが反応しにくい場合があります。
- ●点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。
- ●LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。
- ●照明器具が点灯しない場合は、電源を切り、ご購入店、弊社お客様相談室にご相談ください。

【周囲の影響】

- ●器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像通信機器に雑音が入ることがあります。
- ●器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなることがあります。

お手入れについて

電源を切って、本体やその周辺が冷めてから行ってください

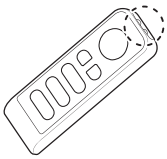
- ●明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に１回程度）に下記の手順で清掃してください。

【 本体 】
汚れは、やわらかい布を石けん水に浸し、よく絞ってから軽く拭き取る。
必ず最後にやわらかい布で乾拭きをする。（水洗いはできません）

【 カバー（プラスチックのもの）】
汚れは、やわらかい布を石けん水に浸し、よく絞ってから軽く拭き取る。
必ず最後にやわらかい布で乾拭きをする。

【 カバー（木・竹・和紙など）】
ハタキ・ハケ・やわらかいブラシ等でこまめにホコリを払い落とす。
（水洗いはできません）

- ●使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。
- ●リモコンに付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります。交換時は２本とも新しい同じ種類のものを使用してください。長期間使わないときは電池を取り出してください。(液漏れによる故障防止)
- ●リモコンの送信部は定期的にお手入れを行ってください。ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。



リモコン
送信部

確認 シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

仕様

使用電圧	周 波 数	消費電力	入力電流
AC100V	50/60Hz共用	全灯：32.3W　常夜灯：1.3W　待機時：1W以下	0.33A

- ●LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります）
  光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

タキズミ照明器具保証書

※お客様へ　保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

＜保証について＞

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。
3. 二次販売、ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、下記「お客様相談室」までご相談ください。
4. 保証期間は製品お買い上げ日から５年間です。(本体、LED器具の点灯装置)　但し、付属部品は1年間です。
   お買上げ日より5年以内に故障が発生した場合は、保証規定の範囲で無料修理させていただきます。
   ※24時間連続使用など、１日20時間以上の長時間の使用の場合は、上記の半分の期間とします。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
   (1)使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障及び損傷
   (2)お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障および損傷
   (3)ご使用による器具のキズ、汚れ、および自然劣化
   (4)各部材の経時変化による外観の劣化やそれに伴う照明機能低下
   (5)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷
   (6)一般家庭用以外(例えば業務用等や車両、船舶等に搭載)に使用された場合の故障および損傷
   (7)施工上の不備に起因する故障や不具合
   (8)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わない事による故障および損傷
   (9)本書および領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示がない場合
   (10)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合

＜アフターサービスについて＞

1. 保証期間中に万一故障が起きた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店までお申し出ください。
2. 保証期間終了後は、お買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。
   修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
3. アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、下記「お客様相談室」までご相談ください。
4. 弊社は照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後最低6年間保有しています。
   （※セードなどの電気部品以外の部品は含まない）
   補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な点はお買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。

品番	RK80149	保証期間（お買い上げ日から）	本体、LED器具の点灯装置　：5年間 カバー、付属部品など　：1年間	お買い上げ日	年　月　日
お客様	お名前 ご住所　〒　－ 電話番号　（　）　－		販売店名・住所・電話番号		

●お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及び、その後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

Sample (見本)

ご不明な点などは下記までご連絡ください。

瀧住電機工業株式会社
〒546-0035 大阪市東住吉区山坂2-21-16

「お客様相談室」フリーダイヤル 0120-226-544
受付時間/月～金(土、日、祝日、夏季、年末年始休業日を除く)　9:00～17:00
http://www.takizumi-denki.com/

リモコン送信機 TLR-009　チャンネル切替操作について

製品により付属のリモコン送信機の種類が異なります。(下写真の2種類)
2種類のリモコン送信機の基本操作は同じですが、チャンネル切替時のみ操作が異なります。
商品に付属のリモコン送信機をご確認のうえ、正しい手順でチャンネル切替操作をおこなってください。

外観での見分け方 と チャンネル切替操作

リモコン送信機の表面下に印刷された弊社ロゴマークをご確認ください。
「あかりのTAKIZUMI」または「TAKIZUMI」のいずれかであることを確認し、それぞれの手順で
チャンネル切替操作をおこなってください。
詳しくは商品に付属の取扱説明書をご確認ください。

「 あかりのTAKIZUMI 」のロゴマークの場合

【 チャンネル切替操作 】

明るさボタン 明 暗 の
両方のボタンを同時に長押し(6秒以上)
してチャンネルを切替える。

「 TAKIZUMI 」のロゴマークの場合

【 チャンネル切替操作 】

全灯・消灯ボタン 全灯/消灯 を押して
照明器具を消灯状態にしてから、
全灯・消灯ボタン 全灯/消灯 を長押し
(6秒以上)してチャンネルを切替える。